

ときめきサイエンス@JWRI(府立池田高等学校・学生研修)

接合科学研究所長 田中 学

複合化機構学分野教授 近藤勝義 同分野助教 梅田純子

当研究所の研究活動内容を広く一般に宣伝するアウトリーチ活動として、本年度も平成 28 年 1 月 15 日～16 日に大阪府立池田高等学校の 1 年生を対象に“ときめきサイエンス@JWRI”を開催しました。初日は田中学所長、塚本雅裕准教授、梅田純子助教が同高校を訪問し、22 名の学生に対して田中所長から「つなぐサイエンス」と題して本研究所の概要を説明した後、塚本先生から「レーザーで壊してつなぐサイエンス」、梅田先生から「もみ殻から作るナノサイエンス」に関する講義を行いました。2 日目は同高校から学生 25 名と教諭 2 名を招待し、「サラサラ、ドロドロ、カチカチ物質のサイエンス」(阿部浩也准教授)、「ブツブツ、ドロドロ、カチカチ立体構造のサイエンス」(桐原聡秀准教授)の 2 テーマについて、基礎知識や原理に関する講義を行うとともに、グループに分かれてパソコンと 3D プリンタを使った部品設計やサンプル製作、また走査型電子顕微鏡による昆虫や活性炭の微細構造の観察、磁石や光で液体の硬さや色を変える実験など、幅広い内容の実習

を取り入れ、大学での通常の講義時間を超える 100 分間の特別講座を行ないました。学生の皆さんは真剣に講義を聴講し、初めて見る設備に興味を示す一方、時折、笑いや驚き(ときめき?)の喚声も上がるといった和やかな雰囲気のもとで本研修を終えることができました。

後日、池田高等学校・田子一郎校長からご丁寧なお礼状を頂戴するとともに、参加学生からは「阪大への憧れが益々強くなった」「新たな発見を何かに生かすことを考える重要性を理解した」「これからの進路選択において参考にしたい」などの感想も頂き、今後の研修活動内容に反映したいと考えております。

